

アンサンブル・ニュー・クラシカ

第二回 リサイタル

エキスパート達の競演

古楽からコンテンポラリーへ



坂口大介

サクソフォン、
クラリネット、
リユート、
チェロ、
アコーディオン。



山本徹



星谷丈生

菊地秀夫



古楽とモダン、
スペシャリストが
織りなす
唯一無二の室内楽



上田朝子



大田智美

©Jumpei Tainaka

開場 13:30 開演 14:00
全席自由 一般 3,000円
学生 2,000円

[チケット予約]
水戸京成百貨店4Fプレイガイド 029-231-1111[代表]
永江楽器水戸店 029-226-6540
関山楽器 029-273-6803
シビックセンターチケットカウンター 0294-24-7711
メール予約 sakaguchi0711@gmail.com

F.Couperin / **王宮のコンセール** No.1

L.Couperin / from preludes
Arr.Takeo Hoshiya
星谷丈生 / 新作初演 [G.Gabrieliによる] 他

二千二十二年
九月四日

[日] **水戸奏楽堂** 「大成女子高前」停留所下車 徒歩3分
「泉町3丁目」停留所下車 徒歩7分

お問い合わせ sakaguchi0711@gmail.com [坂口]
主催：アンサンブルニュークラシカ
フライヤーデザイン 坂口大介

アンサンブル ニュークラシカ

菊池秀夫 クラリネット

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。同研究科修了。クラリネットを二宮和子氏に、室内楽を鈴木良昭、三善晃の各氏に師事。日本現代音楽協会主催コンクール「競奏II」にて内山厚志氏とのクラリネット・デュオで第2位受賞。アンサンブル・ノマドの設立当初からのメンバーとして活動し現在に至る。大学在籍時より新しい時代の作品に興味を持ち、同時代の作曲家の作品の初演・再演をつつ多数行なう。また、ジャズやダンス、日本舞踊など他ジャンルのアーティスト達とのコラボレーションライブも多い。作曲家の星谷丈生氏と音楽企画・演奏団体「OFFICE でき」を設立し代表を務める。現在国立音楽大学及び尚美学園大学非常勤講師。

坂口大介 サクソフォン

茨城県日立市出身。昭和音楽大学卒業後、東京芸術大学大学院修了。茨城県新人オーディション新人賞受賞、[茨城の名手・名歌手たち]出演。2020-2022年までオランダに渡り、ハーグ王立音楽院にてモダン楽器による古楽演奏をテーマに研鑽をつむ。artist certificated music 修了。[クローバー・サクソフォン・クワルテット]バリトンサクソフォン奏者。サクソフォンを彦坂眞一郎、福本信太郎、須川展也、Raaf Hekkema (Calefax Reed Quintet)に古楽奏法をEric Hoeplich (clarinetist in the 18th Century Orchestra)、Lucia Swarts (Netherland Bach Society) 各氏に師事。

山本徹 チェロ

東京芸術大学大学院及びチューリヒ芸術大学修了。2008年第16回ライプツィヒ国際パッサ・コンクール第2位、2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、ファン・ヴァッセナール国際コンクール優勝。パッサ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカのメンバー、オーケストラ・アヴァン=ギャルド理事・首席奏者。シンガポール国立大学音楽院でのマスタークラスや東京芸術大学での集中講義「古楽器概論」講師も務める。

アンサンブルニュークラシカ はコンポーザーと三人の演奏家からなる新しい音楽グループ。作曲の星谷丈生、クラリネット菊池秀夫（アンサンブルノマド）、バロックチェロ山本徹（パッサコレギウムジャパン）、サクソフォン坂口大介（クローバーサクソフォンクワルテット）という異分野のスペシャリストが作り出す唯一無二の音楽集団。

「古楽からコンテンポラリーへ」

あらゆる時代の音楽を今の視点で再構築、演奏する。

星谷丈生 作曲、編曲

作曲家。東京芸術大学博士課程修了、博士号取得。国内外で作品を発表している。主な活動として2005年アンサンブル・ノマド英国公演に参加、2007年サルヴァトーレ・マルティラーノ賞第1位（アメリカ）を受賞した他、2010年武生国際音楽祭、2011年ロワイヨモンセミナー（フランス）、2013年テグ国際音楽祭（韓国）、2014年カフェ・ブダペスト（ハンガリー）、2017年日加現代音楽プロジェクト（カナダ）、2019年Ongaku Festival（カナダ）、2020年Music from Japan（アメリカ）など。「時の形プロジェクト」、「庭園想楽」、「オフィスでき」等でコンサートやレクチャー企画などの活動も行っている。現在、福井大学教育学部准教授。

大田 智美 アコーディオン 【ゲスト】

国立音楽大学附属音楽高等学校ピアノ科卒業後、渡独。2009年2月 Folkvank 音楽大学ソリストコース・アコーディオン科を首席で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。御喜美江に師事。またウィーン私立音楽大学でも研鑽を積む。帰国後は、ソロや室内楽、新曲初演、オーケストラとの共演等、国内外での演奏活動と共に、楽器についてのワークショップを日本各地の音楽大学で行うなど、特にクラシックや現代音楽の分野でのアコーディオンの普及にも尽力し、この楽器の魅力と可能性を発信している。近年では、NHK交響楽団定期公演、東京・春・音楽祭、サントリーホールサマーフェスティバル、武生国際音楽祭、NHKFMベストオブクラシック等に出演。また国内の現代音楽アンサンブル公演にも多く客演しており、その確かな技術と音楽性を高く評価されている気鋭のアコーディオン奏者である。 <http://www.tomomiota.net/>

上田 朝子 リュート、テオルボ 【ゲスト】

3歳より音楽を学び始め、桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学ヴァイオリン科を卒業、同大学作曲科修了。オランダ、ハーグ王立音楽院学部リュート科を最高得点、古楽科主席で卒業し学費満額免除を褒賞され、同音楽院修士課程を優秀賞付きで修了。現在、バーゼル・スコラ・カントルム中世・ルネサンス科修士課程に在籍中。リュートをマイク・フェントロス、ヨアヒム・ヘルトの各氏、バロック・ヴァイオリンをエンリコ・ガッティ、中世リュートをマルク・レヴォンに師事。ピアージュ・マリーニ古楽コンクール第1位、ファン・ヴァッセナール古楽コンクール第3位受賞。中世から現代まで、時代を問わず音楽について考えるのが好き。